我が国の国際競技大会の開催に向けた取組

これからの5年間は、国内で多数の国際競技大会が開催される。

開催地としての盛り上がり、合宿・キャンプ誘致、ムーブメントに乗じたイベントの開催等・・・
全国各地に、スポーツによる地域活性化のチャンスが到来！

2017年	**第8回アジア冬季競技大会（2月　札幌市・帯広市）**
2018年	**第18回アジアジュニア陸上競技選手権（6月　岐阜県）** **2018FISU世界大学空手道選手権（7月　兵庫県）** **第16回ソフトボール女子世界選手権（8月　千葉県）** **2018年バレーボール女子世界選手権（開催時期・地域未定）**
2019年	**2019年柔道世界選手権（8月　東京都）** **ラグビーワールドカップ2019（9-11月　全国12都市）** **2019女子ハンドボール世界選手権（12月　熊本県）** **バレーボールワールドカップ（開催時期・地域未定）**
2020年	**東京オリンピック・パラリンピック競技大会（7-９月　東京都ほか）** 2020FIFAフットサルワールドカップ（愛知県が立候補中）
2021年	**ワールドマスターズゲームズ2021関西（5月　関西地域）** **第19回世界水泳選手権（7-8月予定　福岡市）**
2022年以降	**第20回アジア競技大会（2026年 9-10月予定　愛知県・名古屋市）**

※スポーツ庁調べ（平成29年10月現在）より抜粋